

議案に対する質疑

各会派の代表者が市長の提出議案に対して、質疑しました。主な内容は次のとおりです。

政友会 芝田 裕美

議案第4号

指定居宅介護支援事業所の指定等の権限が都道府県から市町村に移譲されますが、具体的な事務としての程度が想定されるのか伺います。

居宅介護支援事業者は、介護を必要とする方が適切なサービスを利用できるように、ケアマネジャーが本人や家族の要望を伺いながら、ケアプランの作成や見直しなどを行うとともに、サービス事業者や施設等との連携調整などを行う事業所です。

対応として学校近隣のテナントを活用し、平成30年1月より既存施設と合わせて2クラブ体制での運営を行っています。テナントを活用した施設は、学校敷地外にあるため施設までの移動の安全の確保や学校の校庭を活用した外遊びの時間が少ないなどの課題があります。

児童の健全な育成、安全性、利便性を考えますと学校敷地内に整備する必要があります。また保護者の希望でもあることから、学校敷地内の整備についての検討や学校との調整を行ってまいりました。

この協力が整い、施設建設中の対応として暫定的に学校教室を借用できる見込みとなりました。そのため、既存施設を解体し、新たに2階建ての施設を整備するため、五本松小学校放課後児童クラブ整備工事設計委託等を予算計上しました。

これまで都道府県が事業所の指定等を行っていましたが、今年度から市町村に権限移譲されたことに伴い、県から引き継ぎを受けた事業者数は、休止中2事業者を含む41事業者となります。今後は、新規の事業者の指定や指定済みの事業者の更新、変更の手続、指導監査等の業務などの事務を市が行うこととなります。

また、あわせて地域でケアマネジメントの役割を担っているケアマネジャーの育成や支援などの対応も行います。

議案第9号 五本松小学校放課後児童クラブの運営状況と今回新たに建設するに至った理由について伺います。

五本松小学校放課後児童クラブは、平成29年度の入会児童数が急激に増加し、既存施設では対応できない状況にありました。そこで緊急的な



公明党 矢崎 悟

議案第3号

条例の改正により、待機児童対策を推進していく上で期待される効果を伺います。

今回の改正により、連携施設のうち、代替保育の提供については一定の要件を満たした上で小規模保育事業A型事業者など連携協力を行う者の要件が緩和されました。

このことから、代替保育の提供が図られ、安定した保育が提供されることで家庭的保育事業所等の保育士が病気になる場合における対応が期待されます。

議案第8号

鎌ヶ谷市火災予防条例の一部改正に至った経緯について伺います。

平成24年5月に広島県福山市で発生したホテル火災や平成25年2月に長崎県長崎市で発生した認知症高齢者グループホーム火災では多くの尊い人命が失われ、いずれの施設にも重大な消防法令違反が確認されました。

このような不特定多数の方が利用する宿泊施設、または1人で避難することが困難な方が利用する社会福祉施設などで火災が発生した場合、被害が甚大となり得ることから、国では重大な消防法令違反のある防火対象物に対して新たな公表制度を市町村条例に規定することにより、利用者などの防火安全を図ることとしたものです。

市民平和クラブ 針貝 和幸

議案第19号

教育施設の今後5年間の改修計画について伺います。

校舎外壁屋上防水改修工事については、平成31年度に道野辺小学校、平成32年度に東部小学校を計画し、平成32年度には鎌ヶ谷中学校校舎外壁屋上防水改修設計を実施計画に位置づけています。

平成33年度以降の計画については、外壁の劣化度、築年数、前回改修履歴などを参考



日本共産党 宮城 登美子

議案第5号

医療と介護の連携強化について内容を伺います。

利用者が入院する際に担当ケアマネジャーの氏名、連絡先を入院先の医療機関に伝えるよう利用者に、またはその家族に依頼することや、利用

決算審査特別委員会

平成29年度鎌ヶ谷市一般会計及び4特別会計の歳入歳出決算の認定について審査を行いました。

一般会計についての主な審査内容は次のとおりです。

平成29年度予算は、5つの柱を立てて編成されましたが、特に成果があったと考えられる事業について伺います。

1つ目の柱である地震・災害に強い街づくりでは、市庁舎の免震改修工事を昨年6月に完了し、全ての公共施設

の耐震化が完了しました。また、準用河川二和川整備事業に着手し、第1期のバイパス工事が完了したところです。

2つ目の柱である子育て世代にやさしい街づくりでは、4年連続して待機児童ゼロを継続したほか、五本松小学校に新たな校舎を整備しました。

3つ目の柱である高齢者が安心して暮らせる街づくりでは、高齢者保健福祉介護保険事業計画を策定し、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

4つ目の柱である文化・スポーツの振興と緑あふれる街づくりでは、ファイターズ鎌ヶ谷スタジアム20周年記念事業を実施したほか、東道野辺ふれあいの森の用地取得等を進めています。

5つ目の柱であるにぎわいの創出と未来を見据えた街づくりでは、新成線の津田沼方面の高架化を完成させ、交通渋滞の緩和に向け一歩前進しています。

早い時期に詳細な実態調査を進め、換価価値のある財産が判明した場合には速やかに滞納処分を行い、滞納欠損の縮減に向けて取り組みます。

一方で、破産や病気で財産が処分され、生活困窮に陥った方に対しては執行停止を行うといった、めり張りのある滞納処分を行ってまいります。

教育長が就任してから3年間の、教育目標と成果について伺います。

教育目標に掲げたのは、教員の資質の向上、子供の学力の向上、いじめゼロ宣言の3点です。これらの目標に対し取り組んできた成果として、指導主事や心理発達相談員を増員し、教員に対する指導を充実させました。

また、本市独自の学力調査や国の学力・学習状況調査の実施により、子供たちの学力向上にも一定の成果が見られました。そして、いじめゼロ宣言に関して、鎌ヶ谷市いじめ防止基本方針を策定し、行政、学校、家庭、地域が連携して取り組む体制を整備しました。

決算審査特別委員会委員

- 委員長 佐藤 誠
副委員長 石神 市太郎
委員 野上 陽子
委員 中村 潤一
委員 佐竹 知之
委員 松澤 武人
委員 泉 川 洋二
委員 原 八郎
委員 津久井 清氏
委員 池ヶ谷 富士夫

Table with columns for 議案番号等, 件名, 審議結果, and 審議結果. It lists various council resolutions and their outcomes.

(お知らせ) 次回の定例会号は、平成31年2月15日(金) 発行予定です。